

持続可能な地域づくりのための 知見共有プラットフォームの構築

国立環境研究所
公開シンポジウム2026

聴いて
わかる
環境研究の今、
知って
かわる
私たちの未来



環境と調和したまちづくりの先進事例より成功要因(パターン)を抽出し、福島県内の復興・持続可能なまちづくりへ適用するためのフレームワークを構築

福島地域協働研究拠点 戸川 卓哉

<https://pattern-language.nies.go.jp/>



先進事例

それぞれ地域固有の状況に応じた取組であるため、オールインワンのパッケージとして後進地域に展開することは難しい

福島県の復興地域

文献調査・フィールド調査

地域づくりの過程に関する資料文献調査 & 自治体キーパーソンへのインタビュー調査

宮城県女川町
岩手県紫波町
福島県飯館村
岡山県真庭市
宮崎県日南市

パターン抽出・データベース化



課題解決のプロセスに注目してパターンランゲージのフォーマット(状況・問題と解決方法の組み合わせ)により情報を整理し記述

デザインワークショップ



地域での実証研究を展開

パターンにもとづいた地域づくりを検討



パターン抽出・データベース化

パターン名

パターンの内容を簡潔に表現した名称

概要・イラスト

パターン全体の概要を表現するイラストと文章

状況

パターンの適用が望まれる典型的な状況や課題

問題

状況に応じて現れる明確化された課題



フォース

状況・問題の背景で働いている様々な力(フォース)

解決方法

問題を乗り越えるための解決方法

結果状況

解決方法が実践された結果、実現する状況

具体例

パターンのもととなった具体的な事象

デザインワークショップ

フレームⅠ. 地域づくりの実践状況と方向性を共有する

STEP① 各パターンの実践度合いを整理

STEP② 取り入れたいパターンを検討

フレームⅡ. 地域づくりの戦略とシナリオを考える

STEP④ 現在の実践状況を整理

STEP⑤ 近い将来に取り入れたいパターンを検討

STEP⑥ 少し先の将来に取り入れたいパターンを検討

STEP⑦ 地域づくりのシナリオを共有



パターン・カード

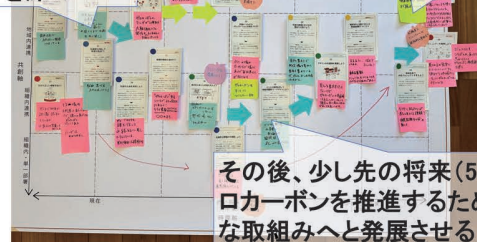


フレーム

福島県富岡町・大熊町において適用

近い将来には「先進的な取組みを視察しよう」などを通じて庁内で学習を深め

最終的には、再び外部に向けてアクションを起こす



その後、少し先の将来(5年後)にはゼロカーボンを推進するためのミニマムな取組みへと発展させる

現状の地域の状況について理解を深めることができたこと、中長期的な取り組みの方向性について参加者間で一定のレベルで共有できたこと、メンバー間で少しずつ視点が異なることに気づけたことなどの成果